

次世代金融アンケート 2025 (説明資料)

2025年12月
SBI金融経済研究所

0. アンケートの概要

目的：暗号資産、ステーブルコイン（SC）、セキュリティトークン（ST）、非代替性トークン（NFT）といった新しいデジタル金融商品に焦点を当て、株や債券といった従来のリスク性金融商品と比較しながら、個人の資産選択行動やそれに影響を与える要因を明らかにする

調査：日本、アメリカ、ドイツ、中国の4カ国の20歳以上の個人（日本が1万人、他の3カ国が各4千人、合計2万2千人）を対象として、2025年9月後半から10月にかけて実施

質問：①対象者の属性、②リスク性金融商品についての認知度、投資経験、認識など、③新しいデジタル金融商品についての認知度、投資経験、認識、保有額、最近の投資傾向、投資目的など、④金融リテラシーやリスク回避度、その他の金融資産選択に影響を与える可能性のある要因の4群

（問い合わせ先）

SBI金融経済研究所

住所 〒106-6019 東京都港区六本木1-6-1

泉ガーデンタワー19F

電話 03-6229-1001（代表）

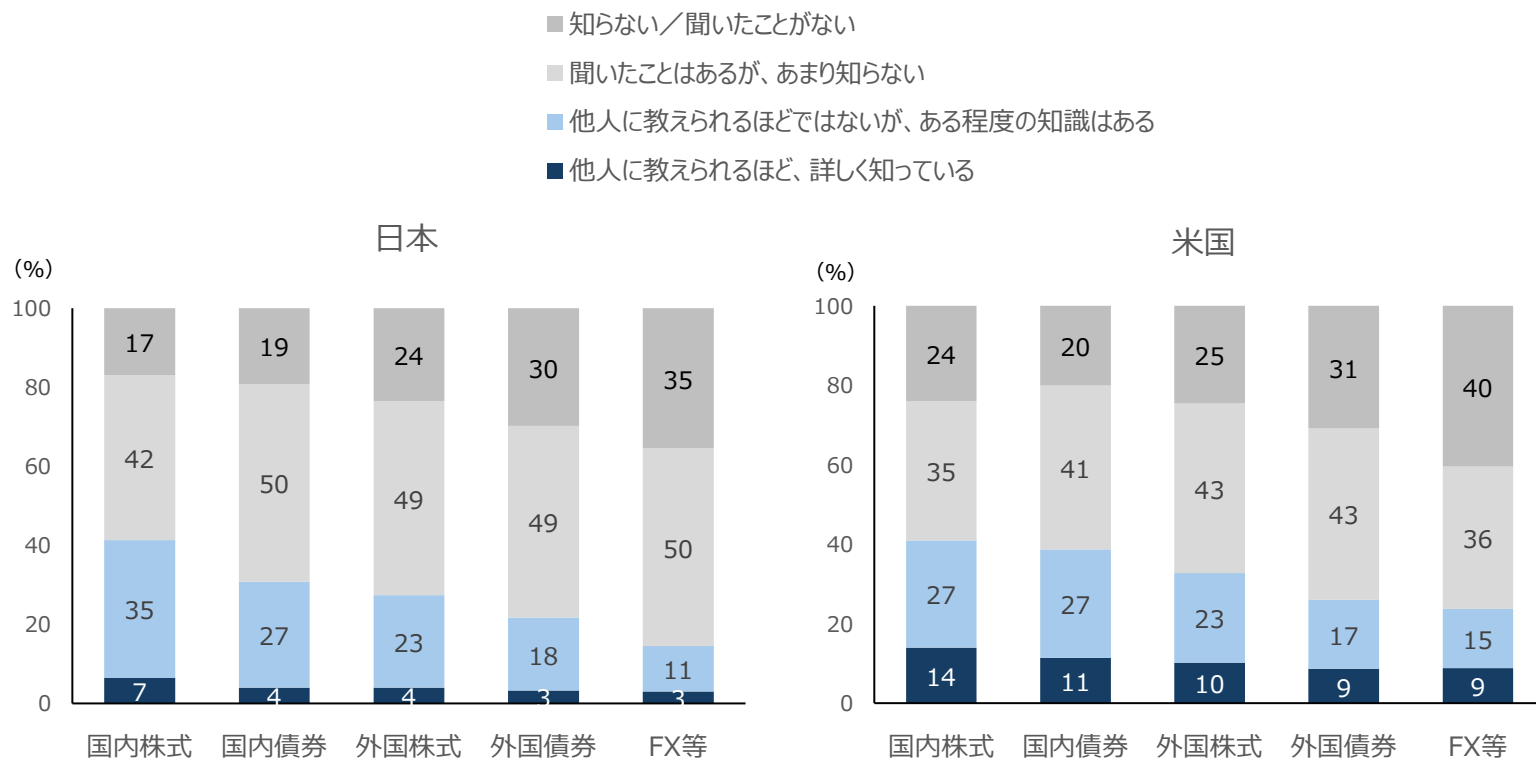
担当 増島・難波

この資料は「次世代金融アンケート 2025」の説明のために作成したものであり、引用等については直接報告書によりたい。

1. 金融商品の認知度

リスク性金融商品（国内株・債券、外国株・債券、FX等）

➤ 日本は米国等に比べいずれの商品についても低い。国内商品の方が外国商品より高い。株式の方が債券より高い

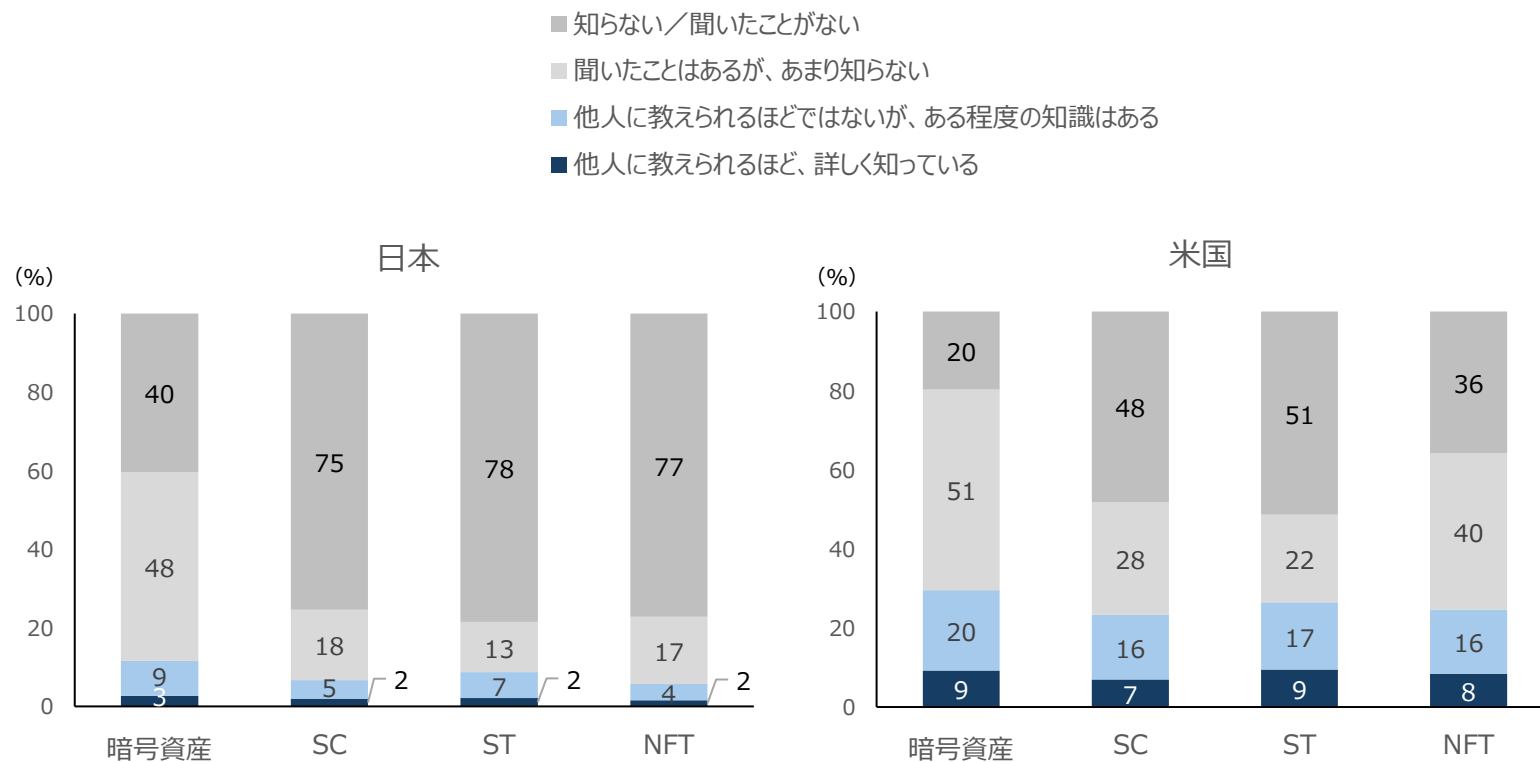


Q8. 次に挙げる金融商品について、あなたはそれぞれの程度ご存じですか。

1. 金融商品の認知度

新しいデジタル金融商品（暗号資産、ステーブルコイン、セキュリティトークン、非代替性トークン）

➤ 日本は米国等に比べいずれの商品についても著しく低い



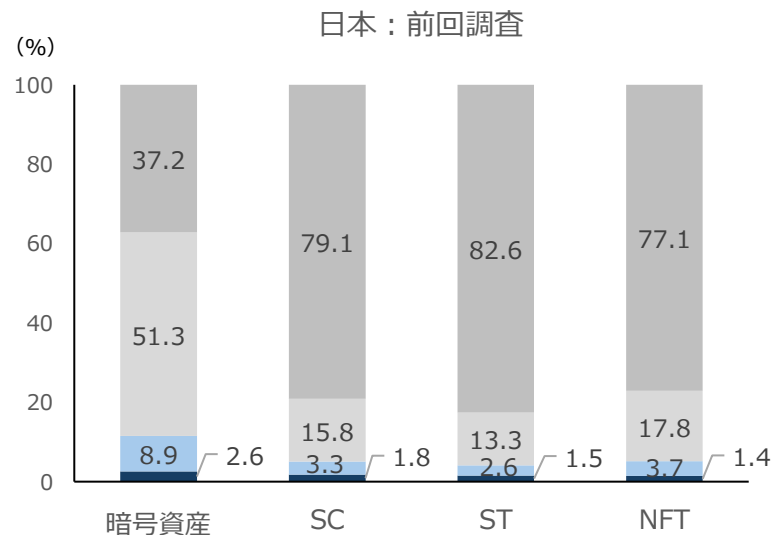
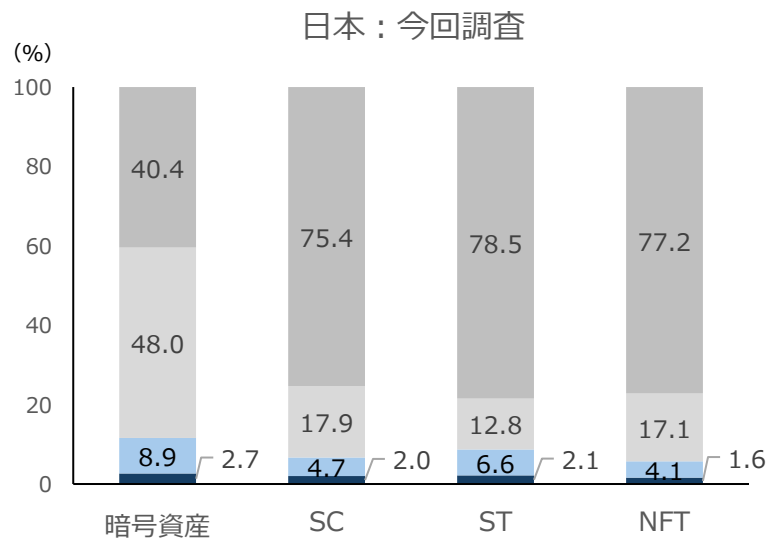
Q14. あなたは、暗号資産など次に挙げるものについてどの程度ご存じですか。

1. 金融商品の認知度 前回調査との比較

新しいデジタル金融商品（暗号資産、ステーブルコイン、セキュリティトークン、非代替性トークン）

➤ 前回調査と比較すると、日本においてステーブルコイン、セキュリティトークンの認知度が向上

- 知らない／聞いたことがない
- 聞いたことはあるが、あまり知らない
- 他人に教えられるほどではないが、ある程度の知識はある
- 他人に教えられるほど、詳しく知っている

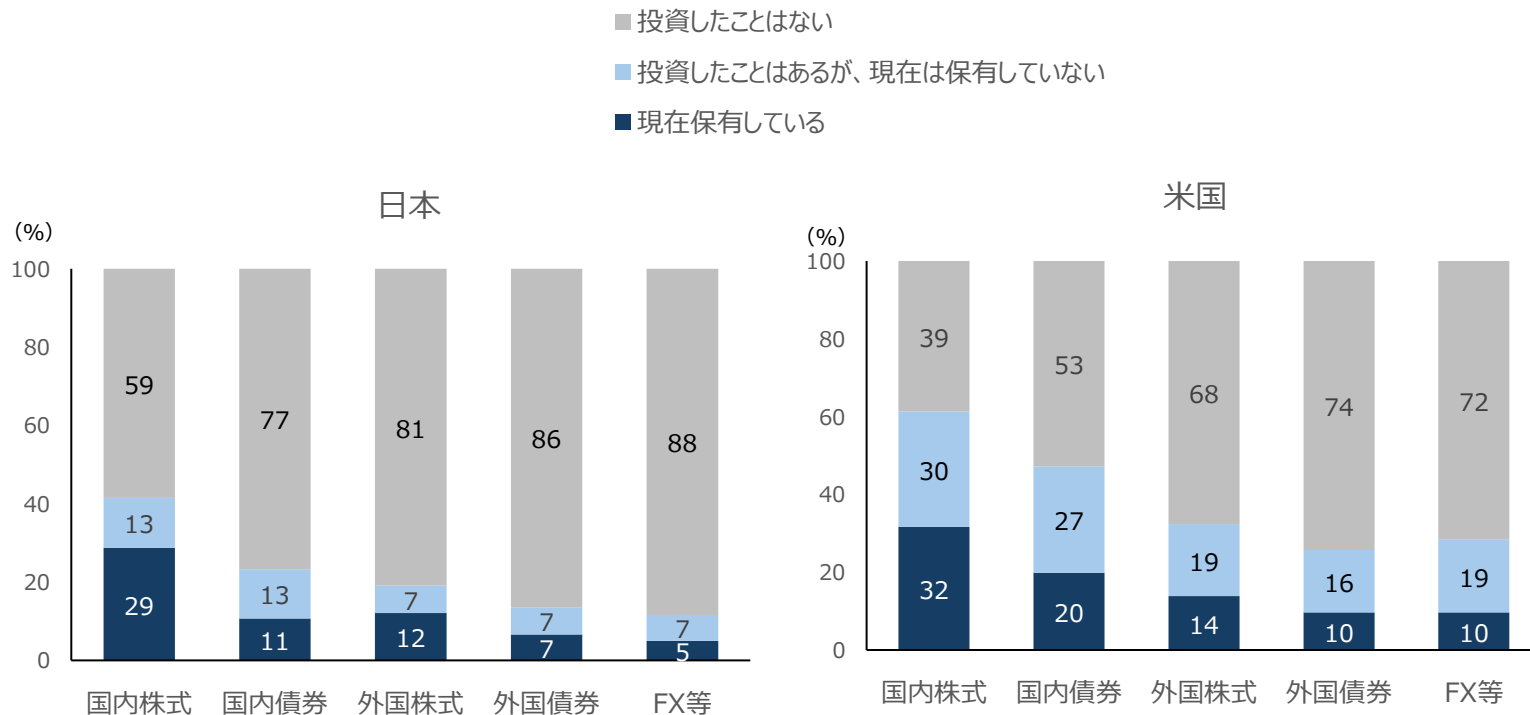


Q14. あなたは、暗号資産など次に挙げるものについてどの程度ご存じですか。

2. 金融商品への投資経験

リスク性金融商品（国内株・債券、外国株・債券、FX等）

➤ 日本は米国等に比べいずれの商品についても少ない。国内商品の方が外国商品より多い。株式の方が債券より多い

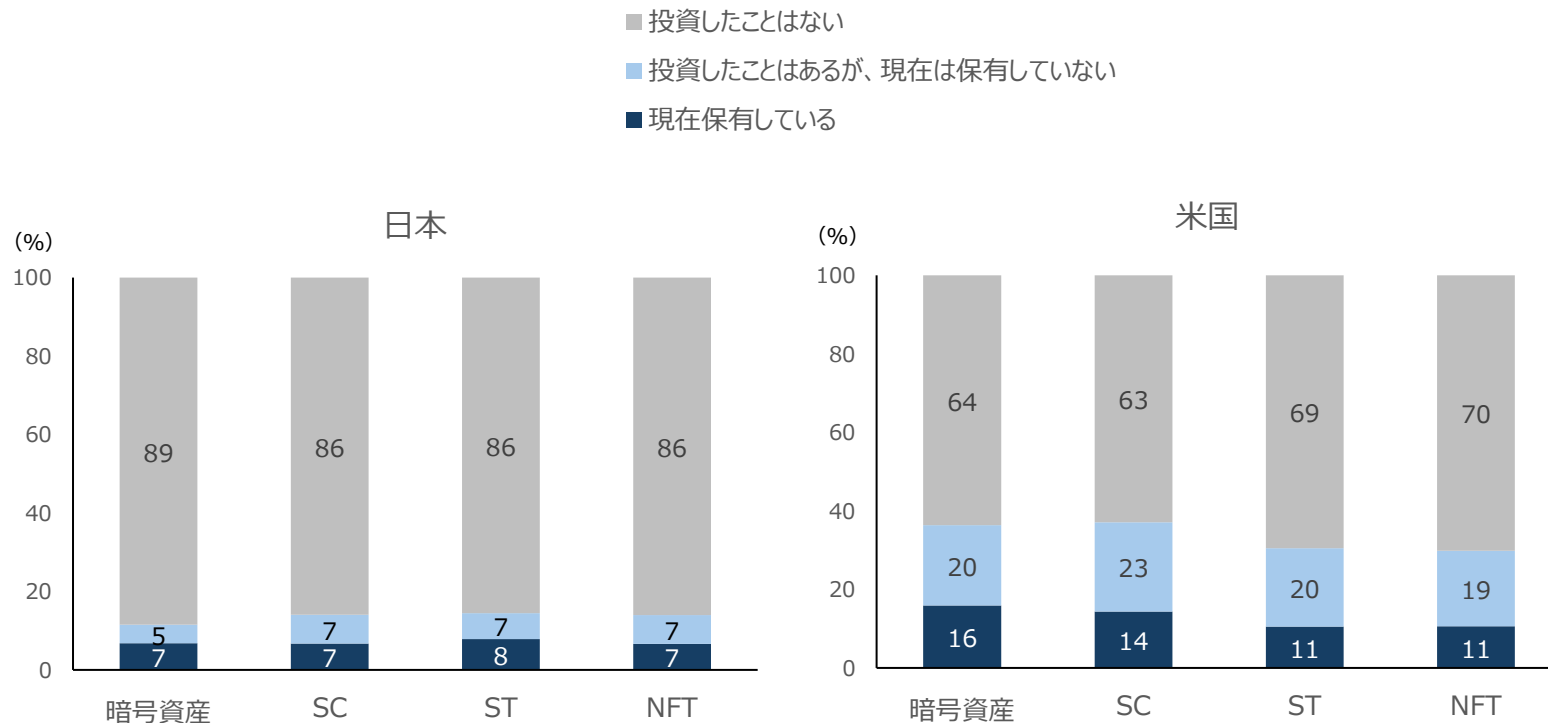


Q9. 次に挙げる金融商品について、あなたの投資経験をお答え下さい。

2. 金融商品への投資経験

新しいデジタル金融商品（暗号資産、ステーブルコイン、セキュリティトークン、非代替性トークン）

➤ 日本は米国等に比べいずれの商品についても著しく少ない

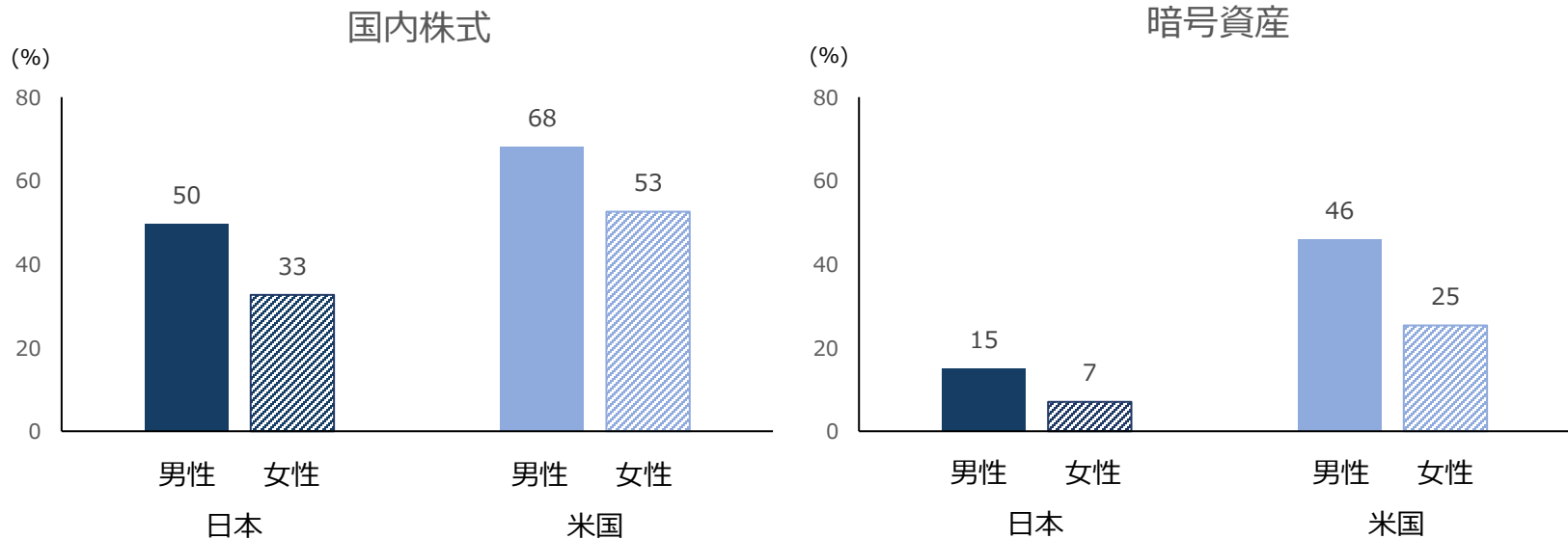


Q15. 新しいデジタル金融商品をご存知の方にお伺いします。新しいデジタル金融商品について、投資・利用経験をお教えてください。

2. 金融商品への投資経験 属性別（性別）

国内株式・暗号資産

➤ 日本、米国とも国内株式・暗号資産への投資経験は男性が多い

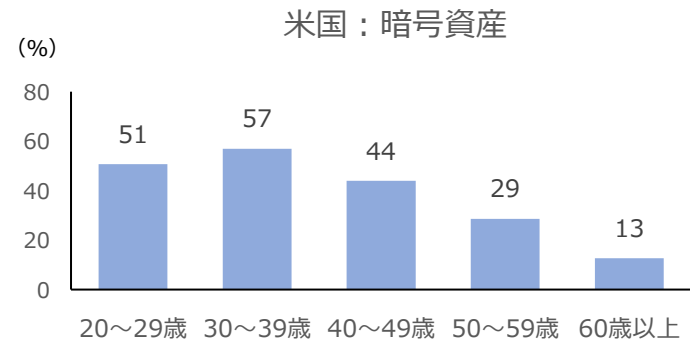
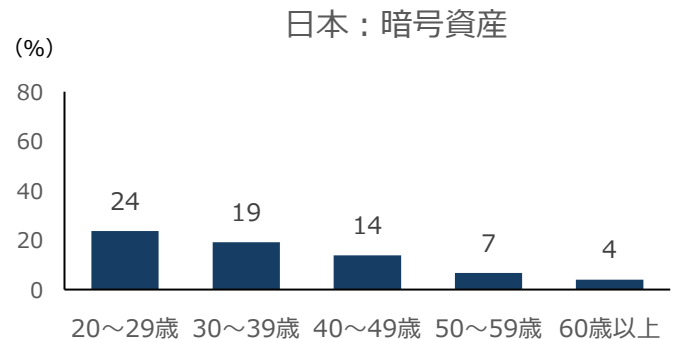
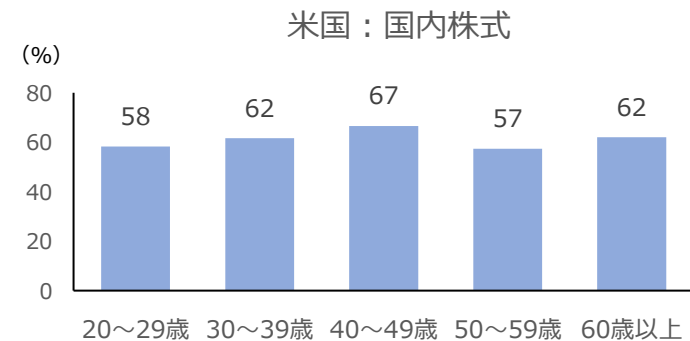
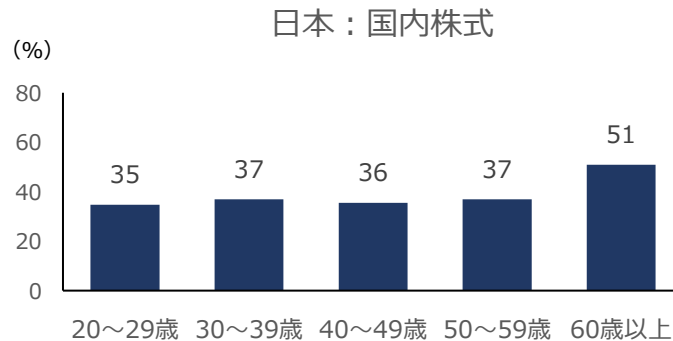


Q15. 新しいデジタル金融商品をご存知の方にお伺いします。新しいデジタル金融商品について、投資・利用経験をお教えてください。

2. 金融商品への投資経験 属性別（年齢）

国内株式・暗号資産

- 日本の国内株式への投資経験は60歳以上で急激に多くなる
- 日本、米国とも暗号資産への投資経験は若年層ほど多くなる傾向



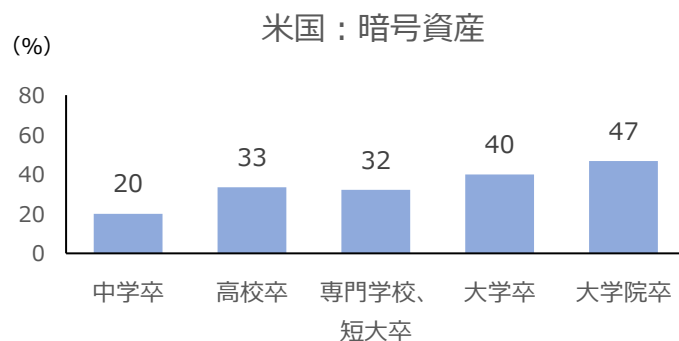
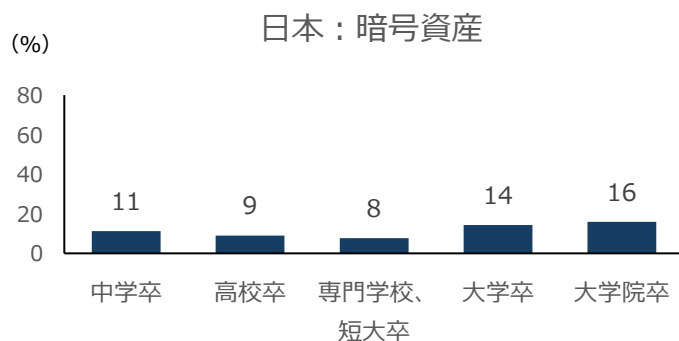
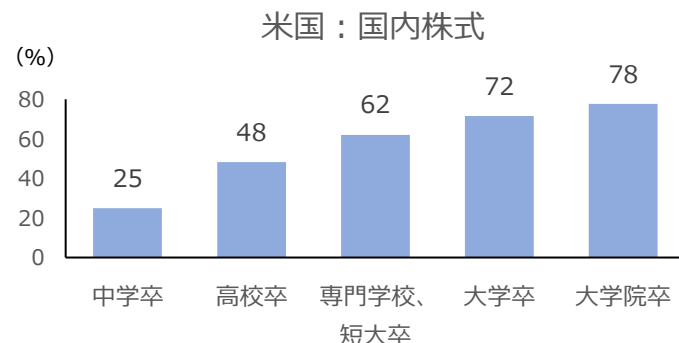
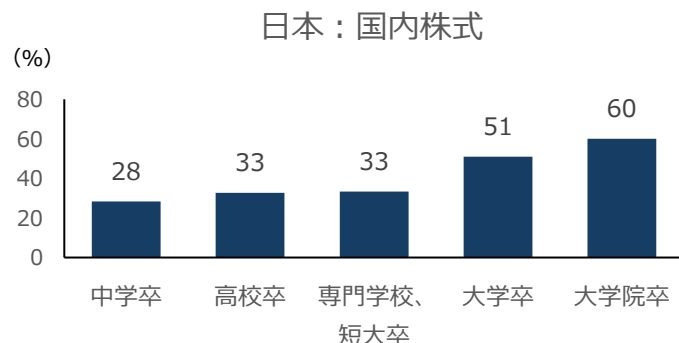
Q15. 新しいデジタル金融商品をご存知の方にお伺いします。新しいデジタル金融商品について、投資・利用経験をお教えてください。

2. 金融商品への投資経験 属性別（教育）

国内株式・暗号資産

- 日本、米国とも国内株式への投資経験は学歴が高いほど多い
- 暗号資産への投資経験も概ね同様の傾向

Nakazono et al.(2025). Who Holds Crypto Assets? Demographics, Financial Sophistication, and the Role of Information. によれば暗号資産の保有確率は学歴が低いほど高まる

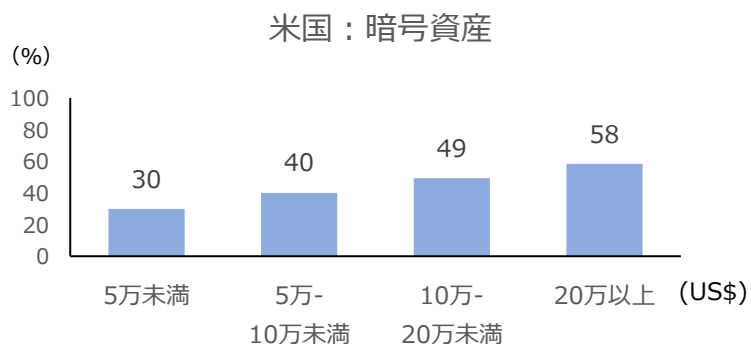
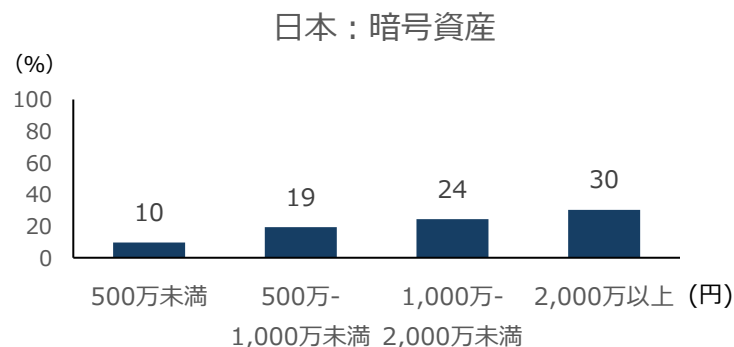
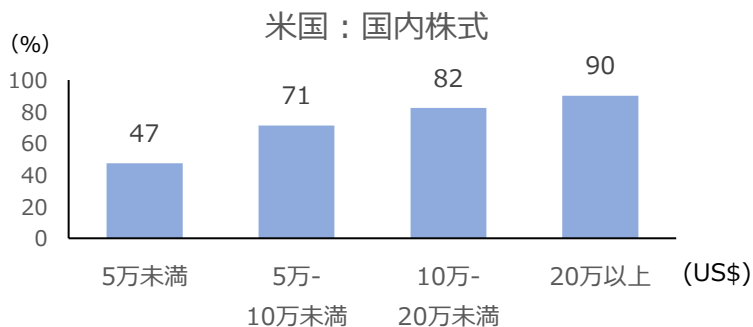
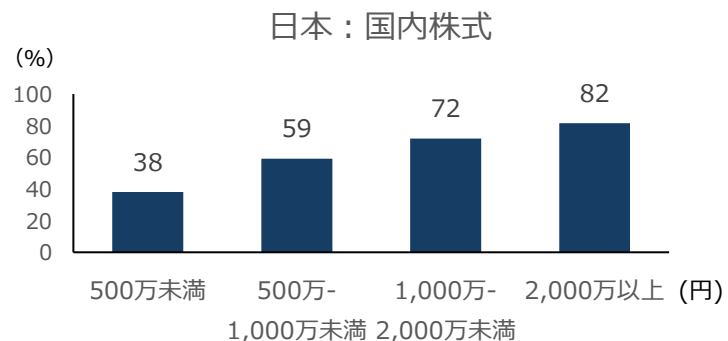


Q15. 新しいデジタル金融商品をご存知の方にお伺いします。新しいデジタル金融商品について、投資・利用経験をお教えてください。

2. 金融商品への投資経験 属性別（所得）

国内株式・暗号資産

➤ 日本、米国とも国内株式・暗号資産への投資経験は所得が高いほど多い

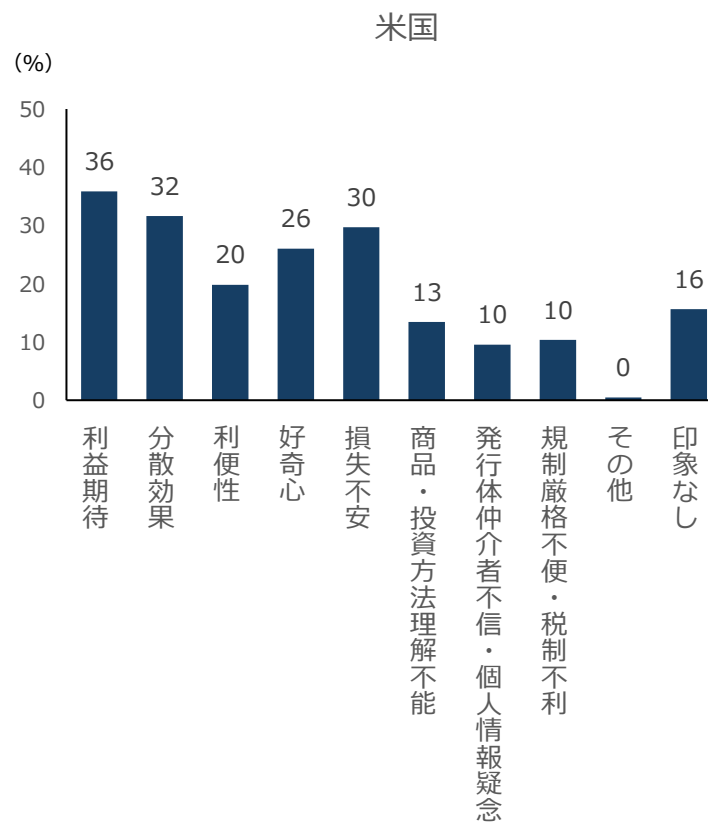
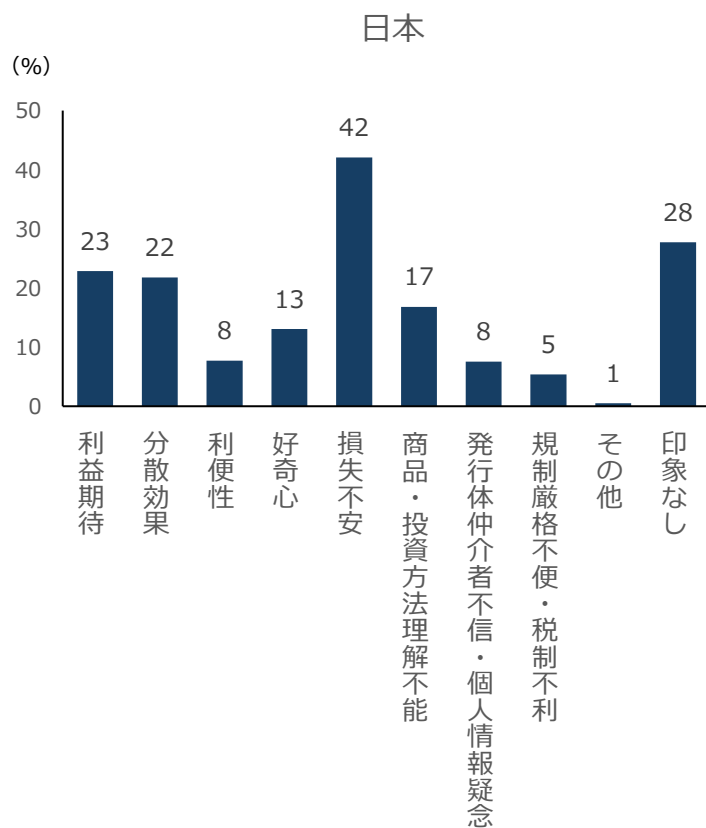


Q15. 新しいデジタル金融商品をご存知の方にお伺いします。新しいデジタル金融商品について、投資・利用経験をお教えてください。

3. 金融商品に対する認識

株式等

- 日本は「損失不安」が突出して多く、次いで「利益期待」「分散効果」が多い
- 米国は「利益期待」「分散効果」が「損失不安」を上回る

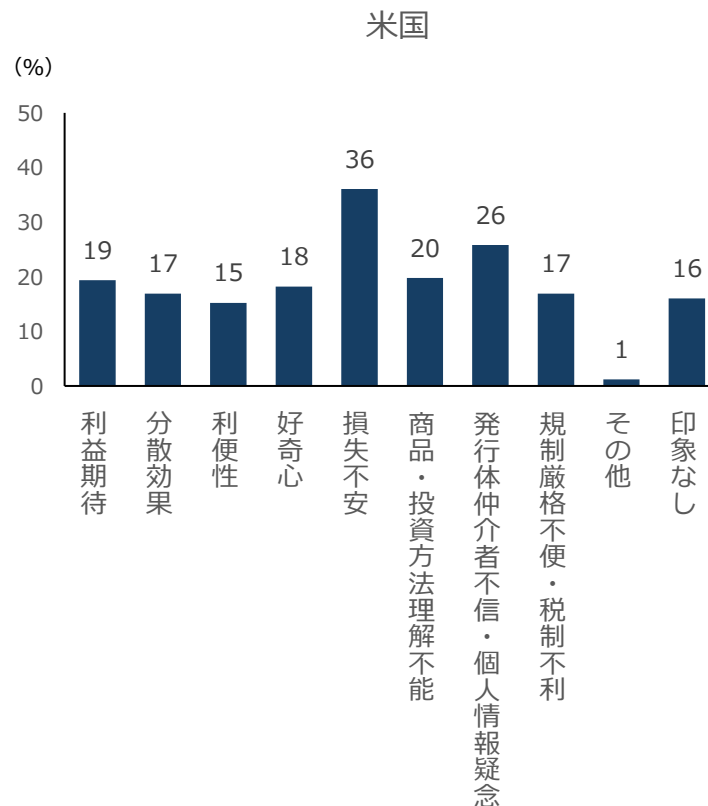
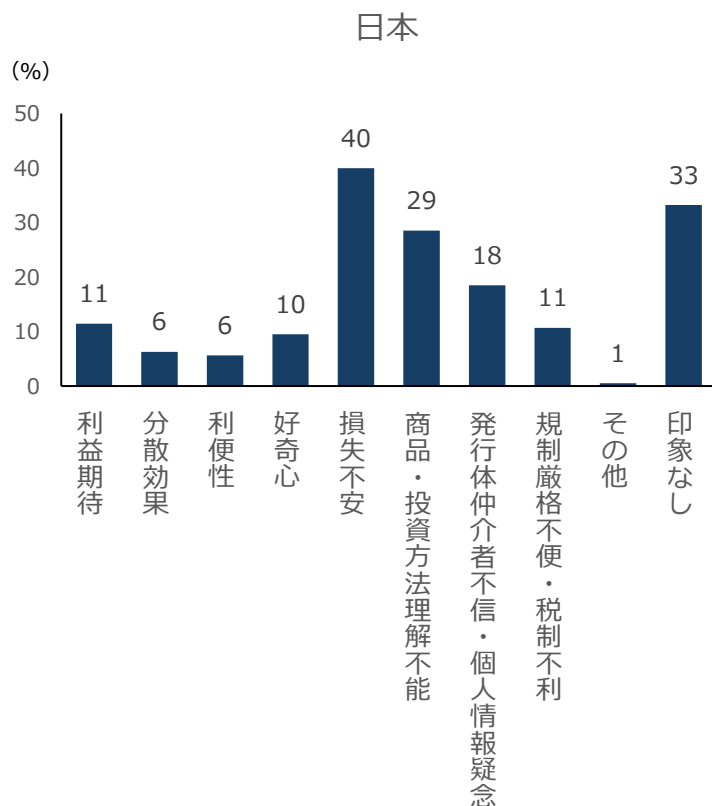


Q12. あなたは株式および主に株式で運用する投資信託について、どのように思われますか。（複数回答可）

3. 金融商品に対する認識

新しいデジタル金融商品（暗号資産、ステーブルコイン、セキュリティトークン、非代替性トークン）

- 日本、米国とも「損失不安」が多い。
- 日本、米国ともポジティブな回答（「利益期待」、「分散効果」等）よりも、ネガティブな回答（「損失不安」「商品・投資方法理解不能」等）が多く、特に日本ではその差が大きい

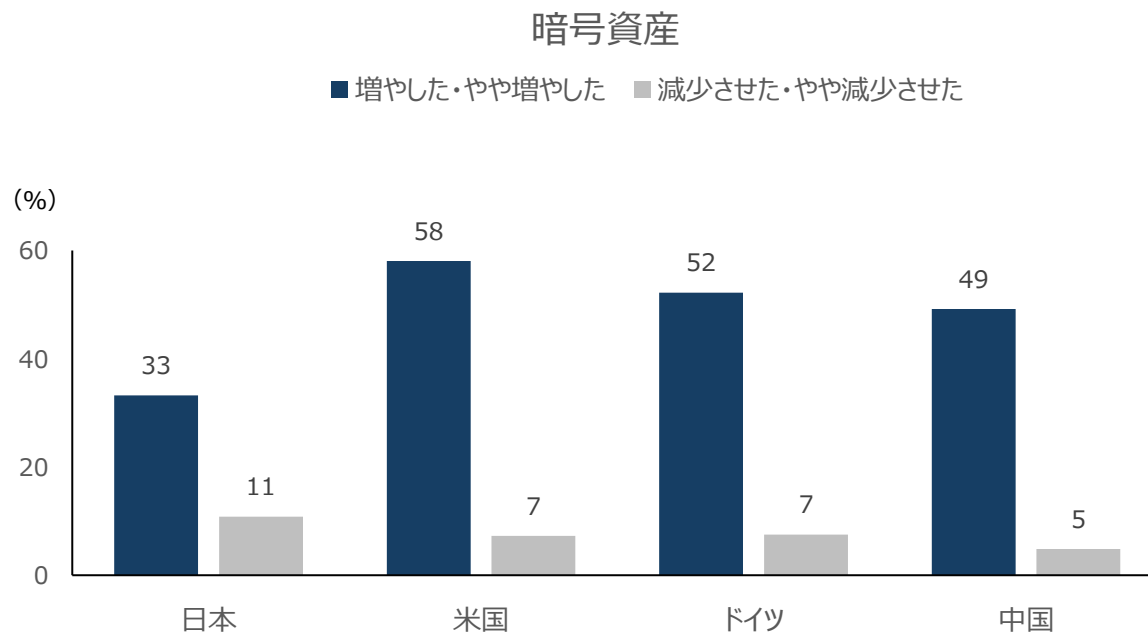


Q20. あなたは、新しいデジタル金融商品に対してどのように思いますか。（複数回答可）

4. 金融資産の保有動向

新しいデジタル金融商品（暗号資産、ステーブルコイン、セキュリティトークン、非代替性トークン）の直近一年間の投資状況

- 新しいデジタル金融商品の保有者は各国ともその投資を増やしている。ただし、日本は相対的に少ない



Q18. 新しいデジタル金融商品の直近1年間の投資状況

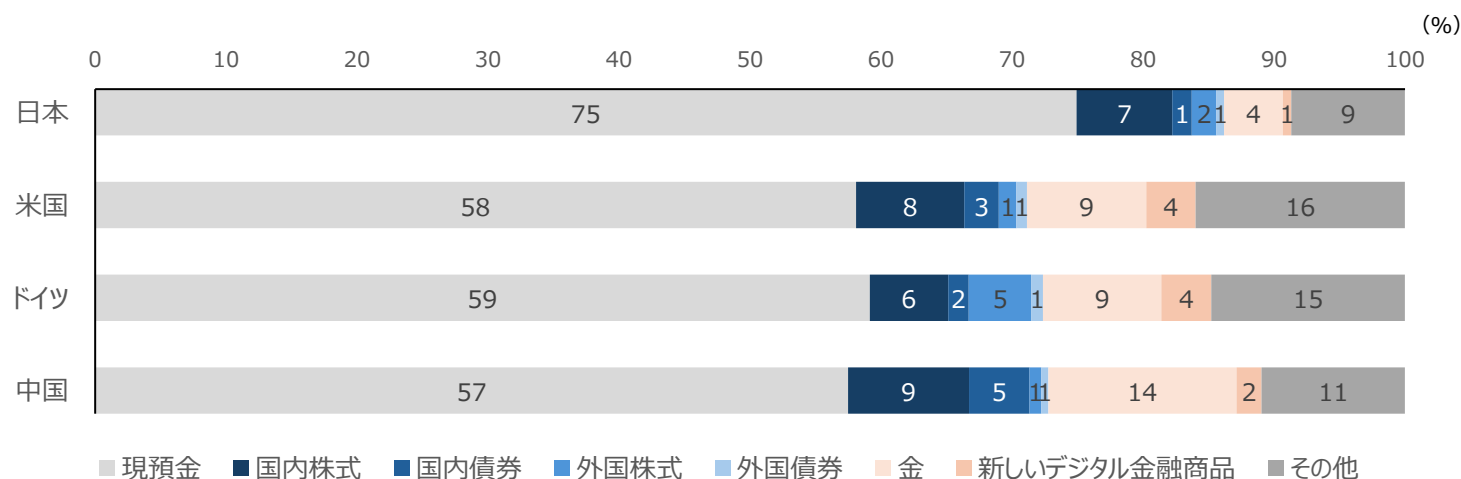
4. 金融資産の保有動向

現在のポートフォリオ

- 日本では現預金の割合が高く、リスク性金融資産の割合が低い
- 日本では新しいデジタル金融商品の割合は極めて低い水準にあり、他国に比べても低い

(%)

	現預金	国内株式	国内債券	外国株式	外国債券	金	新しいデジタル金融商品	その他
日本	74.9	7.3	1.5	1.9	0.6	4.5	0.7	8.7
米国	58.1	8.3	2.6	1.3	0.8	9.1	3.8	16.0
ドイツ	59.1	6.0	1.6	4.8	0.9	9.1	3.8	14.8
中国	57.5	9.2	4.6	0.9	0.5	14.4	1.9	10.9

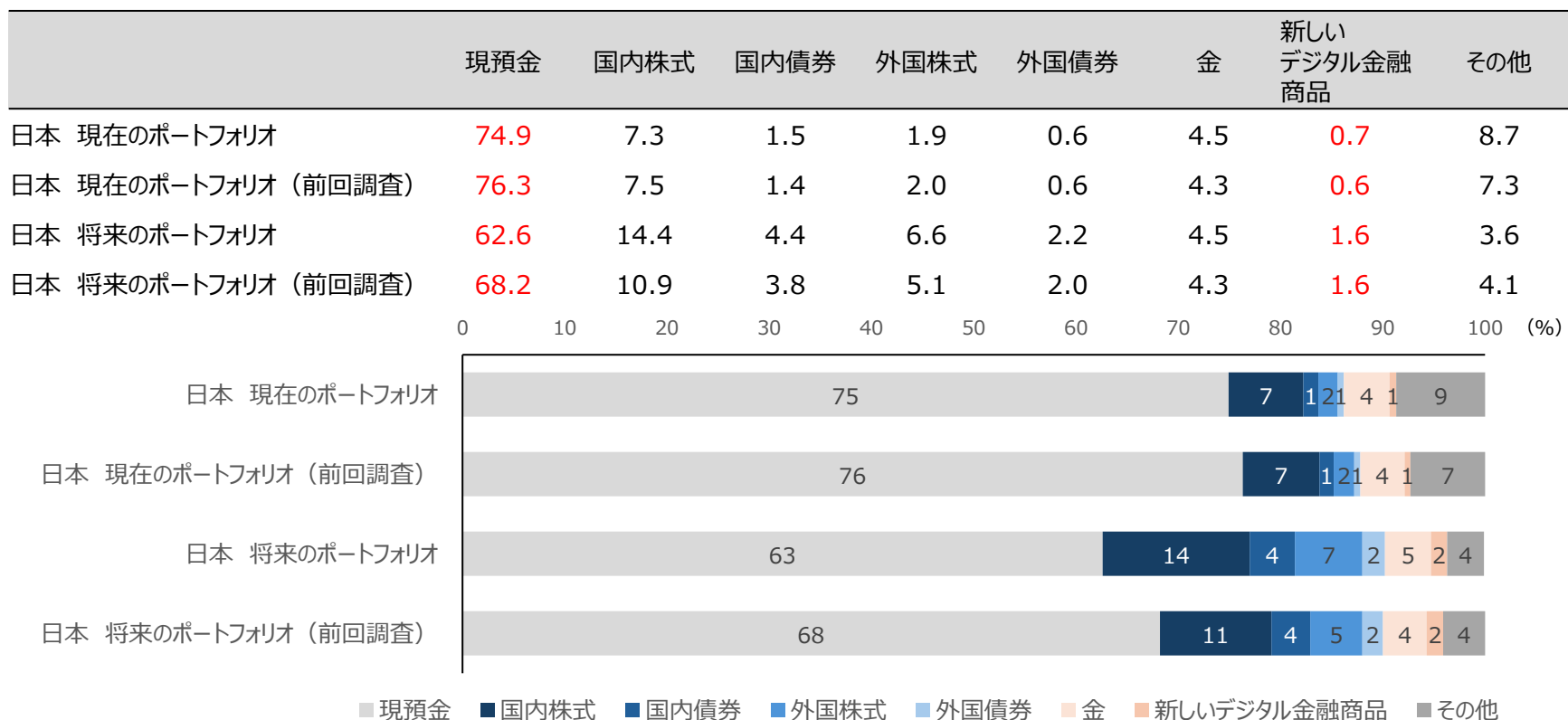


Q17. あなたが保有している金融資産の割合をお答えください。

4. 金融資産の保有動向

現在のポートフォリオと将来の理想的なポートフォリオ（日本のみ） ※何も新しい情報を与えない

- 前回調査と比較して、日本の現在のポートフォリオには大きな変化が見られない
- 将来の理想的なポートフォリオは、現在と比較して現預金の割合を減らしリスク性金融商品や新しいデジタル金融商品の割合を増やす傾向（「貯蓄から投資へ」）がうかがわれる
- また、将来の理想的なポートフォリオを前回調査と比較すると、現預金を減らして株式等を増やす動きが強まっている（%）



Q17. あなたが保有している金融資産の割合をお答えください。

Q34. 1年後における理想的な金融資産の保有割合をお答えください。

4. 金融資産の保有動向

将来の理想的なポートフォリオ（日本のみ）※情報の与え方の違いで複数のグループに分ける

- 株式・暗号資産の収益率の情報を与えると、それぞれの投資を増やす
- 不確実性の情報を与えると、株式では投資を抑制し、暗号資産では投資を増やす
- つまり、情報提供が金融商品の選択に影響

日本 注）RCTとは、Randomized Controlled Trial（ランダム化比較試験）の略 (％)

		現預金	国内株式	国内債券	外国株式	外国債券	金	新しい デジタル金融 商品	その他
RCT	情報なし	62.6	14.4	4.4	6.6	2.2	4.5	1.6	3.6
	株式収益率の情報	63.0	15.2 ↑	3.9	6.8	2.0	4.1	1.5	3.5
	株式不確実性の情報	63.1	13.8 ↓	4.6	7.0	1.7	4.6	2.1	3.0
	暗号資産収益率の情報	60.2	15.3	4.9	6.8	2.1	3.8	2.1 ↑	4.8
	暗号資産不確実性の情報	60.5	15.6	4.8	6.1	2.2	5.0	1.9 ↑	3.9

情報なし：何も新しい情報を与えない。

株式収益率の情報：日経平均株価が過去10年間で2倍になった。

株式不確実性の情報：日経平均株価が過去10年間のうち、1年間で29.5%上昇した年もあれば、1年間で13.3%下落した年もあった。

暗号資産収益率の情報：ビットコインの価格が過去10年間で408倍になった。

暗号資産不確実性の情報：ビットコインの価格は過去10年間で振り返ると、1年間で14倍になった年もあれば、1年間で72.2%下落した年もあった。

Q34. 1年後における理想的な金融資産の保有割合をお答えください。

4. 金融資産の保有動向

将来の理想的なポートフォリオ（日本のみ）

※暗号資産収益率の情報を与えたグループを期待収益率（情報を与える前後で別途聴取）の変化でさらに3分割

- 暗号資産収益率の情報を与えたグループの中でも、期待収益率が高まった人たちが新しいデジタル金融商品への投資を増やす

日本 暗号資産収益率の情報：ビットコインの価格が過去10年間で408倍になった (%)

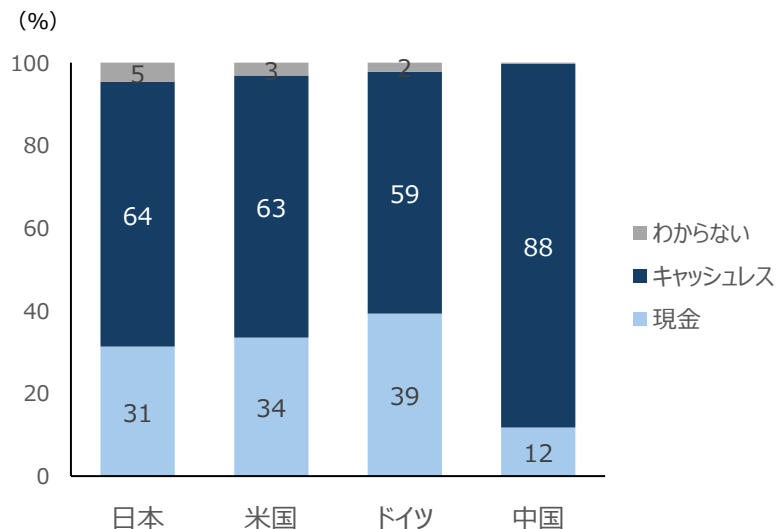
	現預金	国内株式	国内債券	外国株式	外国債券	金	新しい デジタル金融 商品	その他
情報なし	62.6	14.4	4.4	6.6	2.2	4.5	1.6	3.6
暗号資産収益率の情報	60.2	15.3	4.9	6.8	2.1	3.8	2.1	4.8
期待収益率の変化 （下3分の1）	60.0	16.9	3.6	7.0	1.5	4.1	1.9	5.1
期待収益率の変化 （上3分の1）	62.3	13.0	5.9	4.9	1.8	4.5	3.0 ↑	4.6

Q34. 1年後における理想的な金融資産の保有割合をお答えください。

5. 日常において利用している決済手段

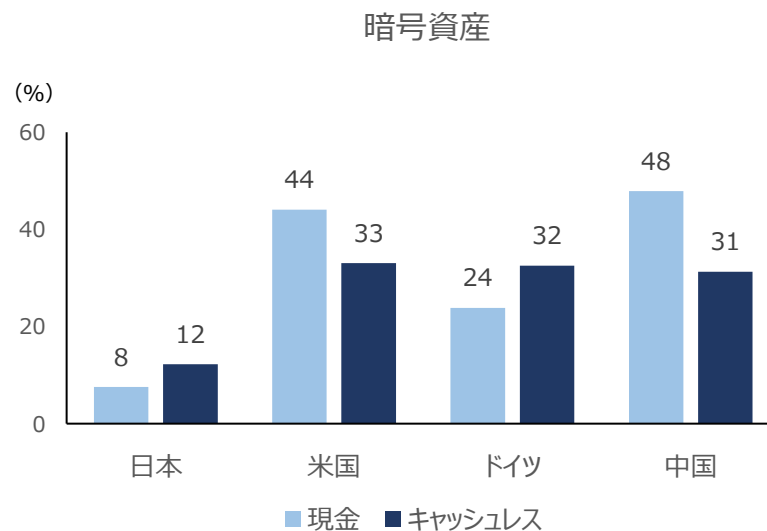
日常の決済手段

- ドイツのキャッシュレス比率は低く、中国は高い
- 日米のキャッシュレス比率は同程度



日常の決済手段と暗号資産投資経験

- 日本やドイツでは、日常的にキャッシュレス決済を利用している人々が暗号資産に投資する傾向が見られる



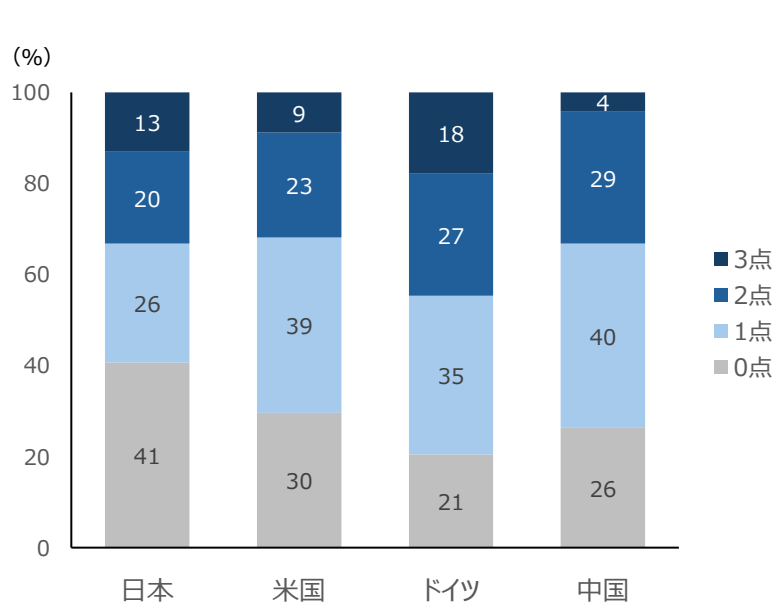
Q22. あなたは日常においてどの手段で支払うことが最も多いですか。

6. 金融リテラシー

金融リテラシー指数

- 平均ではドイツが高く、その他の国は同水準
- 日本では0点が多い

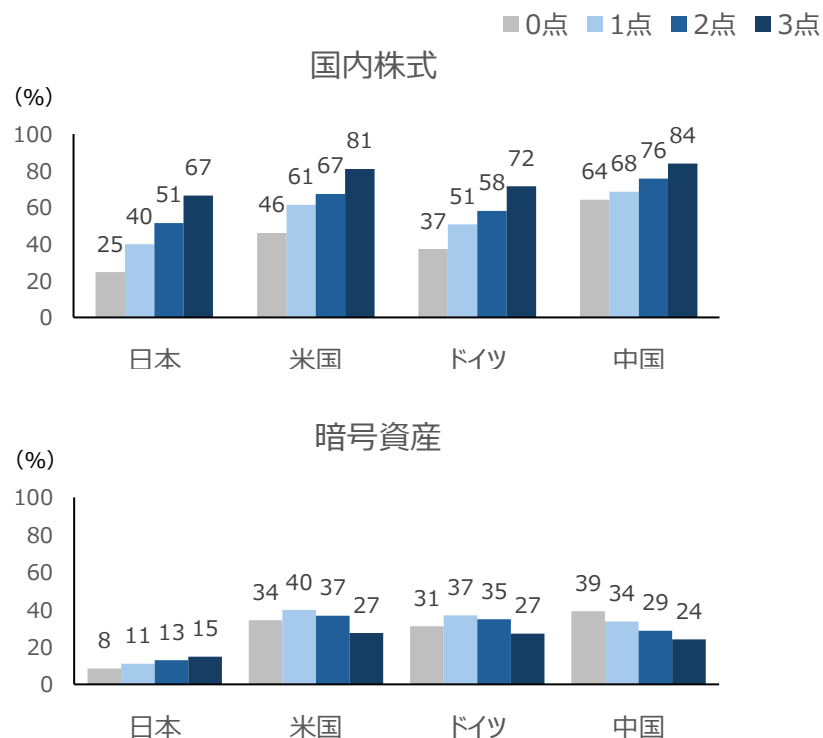
Nakazono et al.(2025). Who Holds Crypto Assets? Demographics, Financial Sophistication, and the Role of Information. によれば
暗号資産の保有確率は金融リテラシーが高いほど高まる



平均値：日本1.06、米国1.11、ドイツ1.42、中国1.11

金融リテラシー指数と投資経験

- 金融リテラシーが高いほど国内株式等への投資経験が多い。日本では暗号資産も上記傾向が見られる

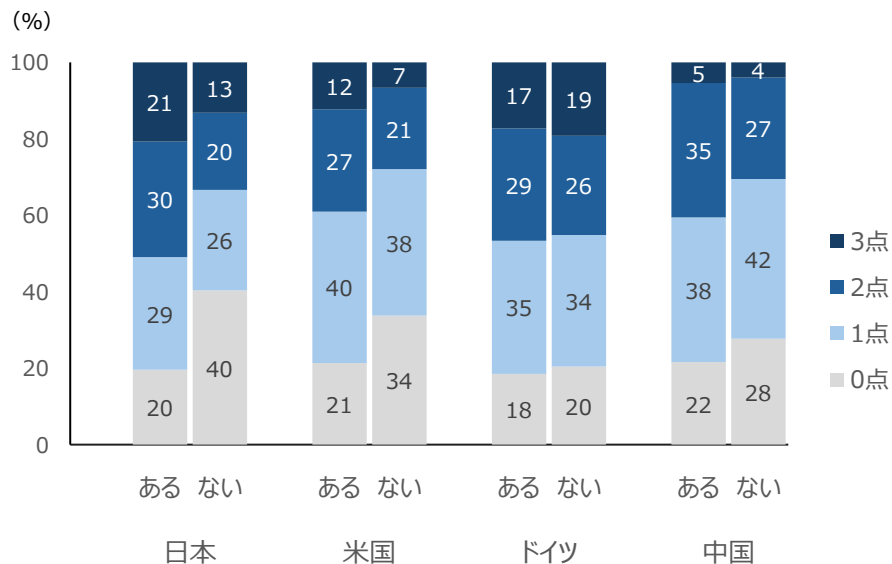


金融リテラシー指数：複利計算、金融資産の実質価値、分散投資の効果に関する3つの質問の正答率から定義

6. 金融リテラシー

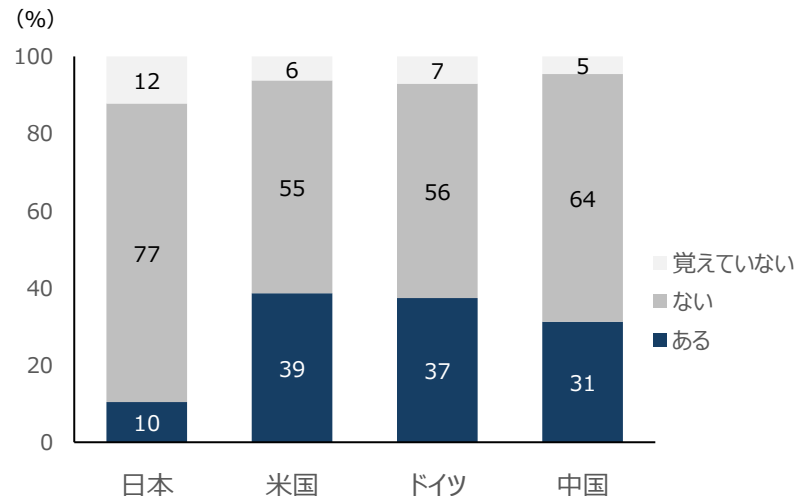
金融教育と金融リテラシー指数

- 「貯蓄から投資へ」を進める上で金融リテラシーは重要だが、金融教育を受けた経験がある者ほど金融リテラシーが高い傾向



金融教育を受けた経験

- 日本では金融教育を受けた者の割合が低い



Q11. あなたは家庭や学校、職場等で金融教育を受けた経験がありますか。

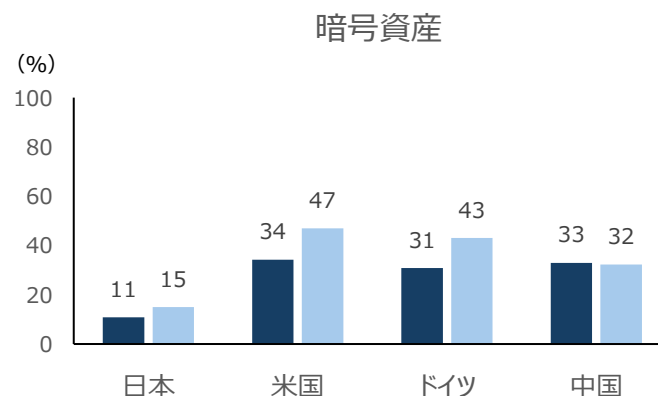
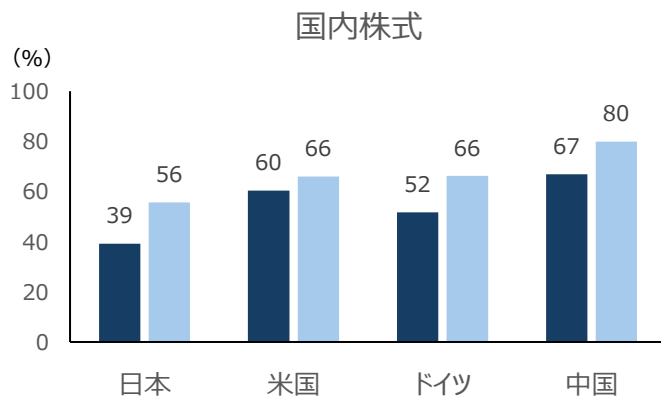
7. リスク回避度・選好度

リスク回避度・選好度と投資経験

- 日本はリスク回避度が高い
- リスク選好度が高いほど、リスク性金融商品や新しいデジタル金融商品への投資経験が多い傾向

	(リスク選好度が高い) ←		→ (リスク回避度が高い)			(%)
	期待値よりも高い (10万円以上)	期待値 (10万円)	期待値より低い (8万円～10万円)	最低保証値 (8万円)	買わない	
日本	5	9	14	17	55	
米国	7	9	20	17	47	
ドイツ	9	11	28	13	40	
中国	9	16	40	15	20	

注) 「リスク選好度（回避度）が高い」とは、Q29で期待値以上の（より低い）額を回答した者



■ リスク回避度が高い ■ リスク選好度が高い

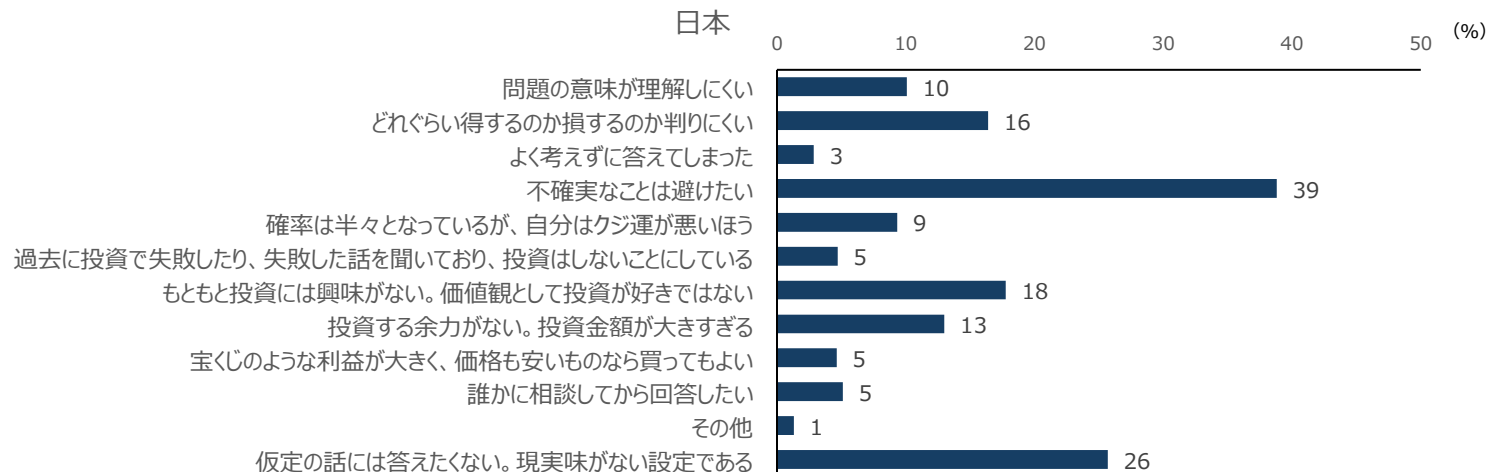
Q29. 50%の確率で12万円が得られ、50%の確率で8万円が得られる投資商品があったとします。
この投資商品がいくらなら買いますか。払ってもよいと思う最大金額を回答下さい。

7. リスク回避度・選好度

Q29で「買わない」と回答した人たちに理由を聞き、複数グループに分けて、それぞれ別の情報を与えて再質問

- 日本は「買わない」層が特に多い（前頁）。買わない理由は「不確実なことは避けたい」が多い
- 絶対損しない取引であるという情報を与えて再質問した結果、日本では24%が買いに変化（76%は買わないまま）

Q30'. 前問で「買わない」を選んだ方に伺います。「買わない」理由で当てはまるもの全てを選んでください。（複数回答可）



Q31'. Q29で「買わない」を選んだ方に伺います。8万円で買うを選ぶと、悪い結果が出ても損はしません。良い結果が出ると、12万円-8万円で4万円の利益が出ます。もう一度、同じ質問に答えてみてください。

再質問の結果

	期待値よりも高い (10万円以上)	期待値 (10万円)	期待値より低い (8万円～10万円)	最低保証値 (8万円)	買わない (%)
日本	2	2	3	19	76
米国	4	3	6	27	61
ドイツ	3	4	8	22	63
中国	5	2	4	15	74